

(1977年) 講師:元プロサッカー選手 加藤康弘 氏

ウクライナの子どもたちは今



4月当初に、生徒会執行 部から「**ウクライナの子どもた ちのために何かをしたい**」と いう声があがりました。

そこで、6/14(水)に形原 出身で世界のさまざまな国の プロサッカーチームで活躍さ れた加藤康弘さんを講師に

講演会を聞く前は、ウクライナの事はテレビの中だけの話で、関係のないことだと思っていました。悲惨な現状をその目で見た人から聞くことで、悲劇が現実味を帯び、恐怖を抱きました。

ロシアやウクライナでは戦争や それ以上のものを背負って今を生 きている人がいる。だからと言っ て日本在住の中3男子が何かでき る?と言われれば、何も言えなく なる。

争いという報われない出来事が、いかに多くの自由を、教育を、住まいを、人々を奪ってきたのか、重く受け止め、自分たちで考えていかなければいけないと思いました。こんな偽善なことしか書けませんが、今の生徒会が、ウクライナ問題に積極的だと聞いたので、もしそういった活動があれば、自分も積極的に参加していきたいです。 (K. H)

お招きし、ウクライナの子どもたちの現状を知る機会をつくりました。

加藤さんは、かつてウクライナのプロサッカーチームに 所属していました。日本とは違い、ウクライナは出身地域 によってウクライナ語を話す選手とロシア語を話す選手が いて、コミュニケーションを取るのに大変苦労したそうです。

ロシア軍侵攻後に隣国のポーランドに訪れると、ウクライナから避難してきた人たちがたくさんいました。そのほとんどが女性と子どもたちでした。加藤さんは、住み慣れた土地や家族と離れ、つらい思いをしているウクライナの子どもたちが、少しでも元気になってほしいとの思いから、サッカーを通じた交流を考え、実行してきました。

加藤さんは、ウクライナで起きている戦争が、小麦の高騰など、私たちの生活に影響が出ていることを例に、「世界はつながっていること」、「決して他人事ではないこと」を強調されました。そして、この講演を聴いて、「みなさんにどういう心の変化があり、みなさんがどういう行動をとるのかを楽しみにしている」と話されました。

今のウクライナは戦争の中でとても大変なことになっているんだなと改めて思いました。その戦争のせいで、他の国にいろんな悪い影響を与えているということがわかりました。こういうことに対して、何か少しでも力になれたらいいなと思いました。 (S. O)

講演会を聞いて、世界中がつながっているということが大事だなと思いました。今世界中で苦しんでいる子どもたちがいることを知り、とにかく今をおもいっきり楽しんで生きること、学校に通えている感謝の気持ちをもつことが大切だと思いました。 (E. H)

ウクライナはロシアと戦争して、いろいろひどい状況にされてしまったことは知っていましたが、「自分のことのように考える」この言葉を聞いて、自分ができることをしたいなと思いました。自分の考えたことが完璧にできるわけではないけど、今辛い状況の人を少しでも支えてあげたいです。 (Y. 1)

3年私立高校 · 專修学校説明会

第1部 (5校)

桜丘高等学校 岡崎城西高等学校 名古屋工学院専門学校 あいち情報専門学校 安城生活福祉高等専修学校 第2部 (8校)

豊川高等学校 安城学園高等学校 豊橋中央高等学校 桜丘高等学校 岡崎城西高等学校 愛産大工業高等学校 愛産大工業高等学校 光ケ丘女子高等学校 安城生活福祉高等専修学校 第3部 (5校)

豊川高等学校 安城学園高等学校 豊橋中央高等学校 愛産大三河高等学校 藤ノ花女子高等学校





6/15(木)、私立高校・専修学校の先生を招いて、学校 説明会を行いました。生徒がなるべく多くの学校から説明を 聞けるように3部制にし、時間を十分(25分間)とりました。各 学校の特色や学科の特徴を知り、進路を考える良い機会 となったと思います。

人生は選択の連続です。一つ一つの選択に正解はありません。大切なのは「こうしたい」という自分の意見をもって選択できるかどうかだと思います。3年生のみなさん、自分の心と向き合って、自分らしい進路選択をしてください。

保護者のみなさま、沢山ご参加くださり、ありがとうございました。



6/18(日)、**形原おやじの会**(代表 八田寿人)のみなさんが、運動場東 の土手の草刈りと中庭の枯れた木の 枝を払ってくれました。

道路から形原中の看板がはっきり みえるようになり、中庭がとても明るくなりました。ありがとうございました。

形原おやじの会では**会員を募集**しています。地元のために一肌脱ぎたいと思っている方がみえましたら、校長までご連絡ください。